

日本海から鳥海山頂上へ――

SEA TO SUMMIT®

Mt. CHOKAI 2015

ちやうかい

鳥海山

9/12-13

開催場所:秋田県・山形県 鳥海国定公園
(モンペルフrendマウンテン鳥海山)



KAYAK 4km



BIKE 21km



HIKE 7km

主催／鳥海山 SEA TO SUMMIT 実行委員会(事務局:NPO法人 元気王国)

後援／観光庁、環境省東北地方環境事務所、秋田県、山形県、山形県教育委員会、遊佐町、酒田市、にかほ市、由利本荘市、
鳥海山大物忌神社、(株)山形新聞社、(株)秋田魁新報社、(株)河北新報社、NPO法人遊佐鳥海観光協会、
(一社)酒田観光物産協会、にかほ市スポーツイベント開催実行委員会、由利本荘市観光協会

オフィシャルウェブサイト <http://www.seatosummit.jp>

※「SEA TO SUMMIT / シー トゥー サミット」は株式会社モンペルの登録商標です。

鳥海山 SEA TO SUMMIT® 2015 大会に寄せて

SEA TO SUMMIT
連絡協議会理事長

モンベルグループ代表

辰野 勇



実行委員長

NPO法人 元氣王国 理事長

佐藤 香奈子

「鳥海山シートゥーサミット」はご参加される選手やサポーター、地元秋田県・山形県の皆様の協力のもとに第5回目を開催する運びとなりました。

鳥海山の美しい自然のもと、全国からアウトドアスポーツを愛好する人々が集います。1日目の環境シンポジウムに始まり、2日目は日本海からスタートして、それぞれのベースで自然の循環を肌で感じながら、カヤック・自転車・登山で鳥海山の頂上を目指します。

自然の循環を感じる環境スポーツイベントとして始まった「シートゥーサミット」。そのコンセプトを元に、365日いつでも快適な旅やアクティビティを楽しめるエコツーリズムの仕組み「ジャパンエコトラック」を全国各地に向けて提案しています。「シートゥーサミット」にご参加いただいた後にも、ぜひまたこの鳥海山を訪れていただき、四季折々の魅力を感じていただきたいと思います。

海・里・山——。

「シートゥーサミット」は人力だけで海から頂上を目指し、大自然を全身で感じながら汗をかき、人と自然のかかわり方の在るべき姿を改めて考える大会です。そんな時間を皆さんと共有したいと思います。

「海から山へ、鳥海山——」

高みを目指してきた人間の歩みと、人とのつながりを広く深く感じ、豊かな人生を歩みたいという想い——。その二つの思いを象徴するかのように、天空と水平線とが交わる「鳥海山シートゥーサミット」。秋田・山形両県に裾野を広げる鳥海山。そして海の向こうに浮かぶ「飛島」。鳥海山と飛島は地質がほぼ同じであることや、五穀豊穡の神が「大物忌神社」に対し、飛島には風を祀る「小物忌神社」がある事などから、太古の昔から深いつながりがあったことが窺えます。5回目の記念となるこの大会で、ついに飛島から31kmのロングカヤックツーリングが実現致しました。この環鳥海の素晴らしい自然環境を全世界に発信し、次世代へとつなぐことを私達は使命と受け取り、今大会も皆さんと共に楽しみたいと思います。

秋田県知事
佐竹 敬久

「鳥海山SEA TO SUMMIT 2015」が盛大に開催されますことを心よりお喜び申し上げますとともに、全国からお越しいただいた皆様を、秋田県を代表して歓迎申し上げます。

本大会の舞台となります鳥海山は、「日本百名山」の一つに数えられ、獅子ヶ鼻湿原や桑ノ木台湿原に代表される豊かな自然に恵まれたエリアであります。この地でカヤックや自転車、登山を通じて自然の循環を体感しながら、自然の大切さについて考える本大会が開催されることは、大変意義のあるものと考えます。

秋田県には、「あきたこまち」に代表されるおいしいお米やお酒、秋田牛、秋田杉のほか、豊富な湯量を誇る温泉や地域で受け継がれてきた民俗芸能などが数多くあります。

現在、「あきた県民文化芸術祭2015」が、県内各地で開催されておりますが、皆様には、こうした機会も含め、御家族や御友人と一緒に、多様な秋田の魅力をお楽しみいただければ幸いです。

結びに、本大会の開催にあたり御尽力いただきました実行委員会及び関係団体の皆様に心より感謝申し上げますとともに参加者の皆様の御健闘をお祈りし、歓迎の挨拶といたします。

山形県知事
吉村 美栄子

「鳥海山 SEA TO SUMMIT2015」の開催、誠にありがとうございます。全国各地から御参加いただきました皆様を、山形県を代表して、心から歓迎申し上げます。

この広大な日本海でカヤックを漕ぎ、美しい大地を自転車で駆け抜け、ゴールの名峰鳥海山の山頂まで登山する本大会は、自然の循環を体感できるすばらしいスポーツイベントです。

参加者の皆様には、この豊かな自然、おいしい空気、そして鳥海山から流れ出る清らかな水を存分に満喫していただきながら、自然の大切さ、また自然と人との共生を考える機会にしていいただければ幸いです。

ここ山形県は、県内全ての市町村に温泉が湧き出し、お湯の色や肌触りの異なる様々な温泉が御堪能いただけます。さらに、「つや姫」をはじめとする美味しいお米や、四季折々の果物、山形牛、蕎麦、日本酒、ワイン、日本海の荒波で育った魚介類など「山の幸、里の幸、海の幸」がたくさんあります。山形が誇る「温泉」「食」「自然」など存分にお楽しみいただきたいと思います。

結びに、本大会の開催に当たり御尽力いただきました大会関係者の皆様に深く感謝申し上げますとともに、参加者の皆様の御健闘をお祈り申し上げ、歓迎の挨拶といたします。

鳥海山国定公園
観光開発協議会会長
遊佐町長 時田 博機

「鳥海山 SEA TO SUMMIT2015」に全国各地から参加された皆様、ようこそおいでくださいました。環鳥海の自治体3市1町を代表し、心から歓迎申し上げます。

鳥海山は日本海からそびえ立つ独立峰で、潮風薫る海岸や実り豊かな平野からは秀麗な山容が見渡せ、また登山道の各所からは雄大なパノラマとなって日本海を眼下に見ることができます。まさにSEA TO SUMMITの名のとおり、海から里へ、そして山への自然の移り変わりや魅力を最も感じる山だと自負しております。この日本海から山頂に至るコースで、カヤック・自転車・ハイクに挑む皆様が、この地域の魅力を全身で感じて楽しんでいただき、自然への感謝と感動があふれる大会にしていいただきたいと思います。

また現在、環鳥海の3市1町では連携して「鳥海山・飛島ジオパーク」の認定に向けた活動を行っております。今年はカヤックで飛島から日本海を横断し、鳥海山麓の吹浦港に向う特別イベントも開催されるということで、この大会の開催がジオパークの認定に向けた一層の弾みになると考えております。また、このエリアには魅力ある自然や文化・歴史のスポットが数多くありますので、レースの前後でぜひご覧いただき、より思い出深い大会にしていいただけたら幸いです。

最後に、この大会のために、特にご尽力いただきました(株)モンベルの辰野会長はじめ、佐藤香奈子実行委員長、ならびに多くのスタッフの皆様に敬意を表するとともに、さらにSEA TO SUMMITが発展することをお祈りし、歓迎の挨拶といたします。

開催要綱

主催 鳥海山SEA TO SUMMIT実行委員会(事務局:NPO法人元気王国)

後援 観光庁、環境省東北地方環境事務所、秋田県、山形県、山形県教育委員会、遊佐町、酒田市、にかほ市、由利本荘市、鳥海山大物忌神社、株式会社山形新聞社、株式会社秋田魁新報社、株式会社河北新報社、NPO法人遊佐鳥海観光協会、一般社団法人酒田観光物産協会、にかほ市スポーツイベント実行委員会、由利本荘市観光協会



協賛 鳥海国定公園観光開発協議会、株式会社モンベル、ダイハツ株式会社、日本ヒューレットパカード株式会社、大山ハム株式会社、株式会社オージーケーカブト、株式会社キャットアイ、アリスト販売株式会社、海快晴(株式会社サーフレジェンド)、株式会社ビクセン、オリンパスイメージング株式会社、カシオ計算機株式会社、パーセプション、ゴールゼロ、キャメルバック、ジェットボイル、Sun Company、バイオライト、ラフウェア、酒田米菓株式会社、庄内風力発電株式会社、株式会社庄内エネルギー、加藤総業株式会社

大会期日 2015年 9月12日(土)・9月13日(日)

会場 9月12日 西浜海岸(受付)、鳥海温泉遊楽里(開会式、環境シンポジウム)
9月13日 西浜海岸(スタート)、鳥海温泉遊楽里(閉会式)
海のステージ [カヤック] 西浜海岸～吹浦港防波堤内2周～西浜海岸……約4km
里のステージ [自転車] 西浜海岸～駒止～鉾立駐車場……約21km
山のステージ [登山] 鉾立駐車場～御浜神社～鳥海山大物忌神社(山頂御本社)……約7km

定員 先着100組もしくは300名限定(募集人数に達し次第、受付を終了します)

参加費 シングルの部：¥10,800(税込)／チームの部：¥10,800×人数(税込) **環境保全協力金¥500を含む**

参加資格 ●健康な方で、参加者全員分のカヤック装備(パドル/ライフジャケットを含む)、自転車装備(ヘルメットを含む)、水分補給のための給水用装備(ハイドレーション・システムなど)を用意できる方
●シングルの部:高校生以上の方、チームの部:中学生以上の方
●大会事務局より大会参加承認を受けた方

※病弱、心臓に障害のある方は参加できません。 ※高校生以下の参加には保護者の同意が必要です。 ※年齢は大会当日を基準とします。

日程 9月12日(土)

13:00～15:30 大会受付(西浜海岸)
カヤック、自転車搬入 ※受付終了者に限る
16:00～ 開会式(以下 鳥海温泉遊楽里)
16:30～ 環境シンポジウム
18:00～18:30 大会説明

9月13日(日)

5:00～ 参加者集合
5:30～ 大会スタート(西浜海岸)
17:00～ 閉会式・表彰式(鳥海温泉遊楽里)
18:30 終了

※天候およびコースの状況により変更になる場合があります。

制限時間 10:30までに御浜神社(登山コース約3.5km地点)、11:30までに七五三掛(登山コース約5.0km地点)、13:00までにゴールに到達すること(10:30までに御浜神社にたどり着けなかった参加者は、御浜神社にて棄権とする)。
※詳しくは次ページの地図をご覧ください。

コース全体図

※天候およびコースの状況により変更になる場合があります。

9月13日 日

大会コースとチェックポイントのご案内です。応援ポイントなどもご紹介しておりますので、是非、参考にしてください。

応援サポーターの方へ

路上駐車・自動車による自転車との並走は周辺住民の方のご迷惑となりますのでご遠慮ください。各応援ポイントの最寄りの駐車場 **P** をご利用ください。

39.0670°N 139.8727°E

西浜海岸

(大会スタート地点)

応援目安時間
5:30—7:00

公式気象情報モバイルサイト

海快晴(株式会社サーフレジend)のご協力により、イベント専用モバイルサイトがオープンいたします。サイト内では、大会の主要ポイントにおける気象情報について、天気はもちろん、風や波などの情報をわかりやすくご案内します。SEA TO SUMMITオフィシャルウェブサイトにてQRコードを公開します。
<http://www.seatosummit.jp>

アクセスはこちらから



海をつたえる、笑顔をつくる。



応援ポイント

大平山荘



応援目安時間
7:00—10:00

39.1219°N 139.9905°E

鉾立駐車場



応援目安時間
7:30—10:30

39.0976°N 140.0487°E

鳥海山大物忌神社
(山頂御本社)

応援目安時間
11:00—13:00

鉾立駐車場/標高約1,150m
自転車フィニッシュ→登山スタート

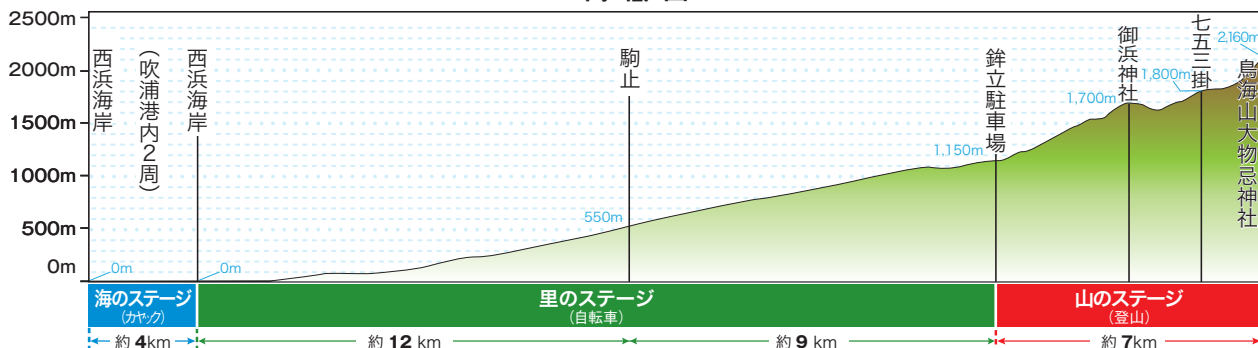
フィニッシュ:
鳥海山大物忌神社
(山頂御本社)/標高2,160m
タイムアウト 13:00

御浜神社
/標高約1,700m
タイムアウト 10:30

七五三掛/標高約1,800m
タイムアウト 11:30

登山約7km

高低図



39.1047°N 140.0146°E

御浜神社

※選手交代はありません



応援目安時間
9:00—10:30

チェックポイント



エイドステーション



応援ポイント



自転車メンバー
交代可能地点
トイレ



駐車場



mont·bell

株式会社モンベル

<http://www.montbell.jp/>

総合アウトドアメーカー。「Function is beauty」と「Light & Fast」をコンセプトに高機能登山用品とアウトドア用品全般の開発・製造・卸・販売を行っております。



DAIHATSU

ダイハツ工業株式会社

<http://www.d-wake.jp/>

自動車メーカー。1907年3月の創業以来、「世界中の人々に愛されるスモールカーづくり」を使命とし、事業を展開。2014年11月より、レジャーシーンで本格的に使える新型軽自動車「WAKE」を発売。



大山ハム株式会社

<http://www.daisenham.co.jp/>

2013年ドイツ農業協会(DLG)主催国際品質競技会9年連続金賞受賞の「カントリーロースト(スライス)」を中心に、丹念に造り上げたハム・ソーセージ・ベーコンを食卓にお届けします。



株式会社オージーケーカブト

<http://www.ogkkabuto.co.jp>

サイクル・オートバイ・チャイルド用ヘルメットメーカー。落下衝撃テストやサポートライダーによる実走行テストなど、さまざまな条件下でデータを収集。安全を最優先に、時代とともに構造やスタイル、デザインを進化させながら幅広いラインナップを展開しています。

海をつたえる、笑顔をつくる。



海快晴(株式会社サーフレジェンド)

<http://pc.umikaisei.jp/>

京都大学防災研究所との共同研究により独自気象解析システムを開発し、企業や個人向けに高精細な情報を提供。また、「マリンウェザー海快晴」により安全で安心した海の環境づくりに貢献しています。



株式会社ビクセン

<http://www.vixen.co.jp/>

ビクセンは60年以上に渡って、双眼鏡、天体望遠鏡、ルーペなどを製造している光学機器のメーカーです。レンズ越しに広がる美しい星空や、新しい眺めを、より多くの人に楽しんでもらいたいと考えています。



パーセプション

<http://www.perceptionkayaks.com/>

アメリカのカヤックブランド。シットオンカヤック、フィッシングカヤック、ツーリングカヤックに至るまで最高の素材を使用し、より良いパフォーマンスを発揮する製品づくりにこだわっています。



ゴールゼロ

<http://www.goalzerojp.net/>

GOAL ZEROはアウトドアシーンで使える革新的なソーラーパワーシステム製品を提供する米国のメーカーです。



Sun Company

<http://www.suncompany.net/>

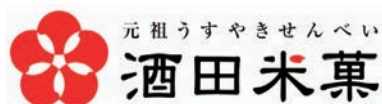
アウトドアの中で役立つ斬新なアイデアを持った小物を、1971年から次々と世に送り出しているユニークなアクセサリメーカー。



バイオライト

<http://www.biolitestove.jp/>

ガスやガソリンなどの化石燃料を使わなくても強力で安定したたき火ができ、さらに発電も可能という画期的なキャンピングストーブを開発、製造しています。



酒田米菓 株式会社

<http://www.sakatabeika.jp/>

昭和26年創業から米菓を主軸としたスナックメーカーとして、東北を中心にせんべい商品を提供してまいりました。酒田米菓は、SEA TO SUMMITを応援します。

庄内風力発電株式会社



株式会社庄内環境エネルギー



加藤総業株式会社

庄内地方沿岸部において、クリーンエネルギーである「風」を利用した風力発電事業に取り組み、地球環境にやさしい社会づくりを推進していきます。私たちはSEA TO SUMMITを応援します。



鳥海国立公園観光開発協議会
<http://www.chokaizan.com/>

鳥海国立公園及びその周辺地域の観光振興及び観光資源の保護に関する施策を推進しています。



株式会社キャットアイ
<http://www.cateye.com/>

自転車用のリフレクターや、走行データ・心拍などを計測するサイクロコンピュータの他、LEDを照明に採用するなど自転車の進化に貢献している開発型製造メーカーです。



オリンパスイメージング株式会社
<http://olympus-imaging.jp/>

オリンパスはSEA TO SUMMITに協賛させていただきます。私達は映像事業を通じて、お客様のさまざまな環境下(特に今回の大会のような厳しい環境下でも)「思い出」「夢」を創造し、より豊かな生活を提案させていただきます。



キャメルバック
<http://www.camelbak.jp/>

20年近くにわたり、ハイドレーションシステム技術の最先端を担ってきたブランド。ハイドレーションシステムの世界NO.1ブランドとして広く知られています。



日本ヒューレット・パッカード株式会社
<http://www8.hp.com/>

日本ヒューレット・パッカードはグローバルHPの一員として、日本のお客様に満足していただける製品とサービスを提供してまいります。



アリスト販売株式会社
<http://www.arist.co.jp/>

クエン酸サイクルに基づき開発された10年以上の実績を誇る、回復系飲料のロングセラー。1ℓで梅干し約12個分のクエン酸とアミノ酸、ビタミン、ミネラルなど40種類の成分を配合しています。



PROTREK
<http://protrek.jp/>

いかなる状況下でも、すばやく自然を感知する本格アウトドアギアとしてのユーザビリティを追求し、常に進化を続ける時計ブランドです。様々なフィールドへの挑戦をプロトレックがサポートします。



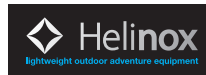
ジェットボイル
<http://www.jetboil.jp/>

アメリカで数多くの賞をおさめた、保温クッカーと熱効率の高いストーブがセットになった簡単便利なアウトドア用調理器具です。



ラフウェア
<http://www.ruffwear.jp/>

犬と一緒にアウトドア・アクティビティを楽しむことを提案し、その実現のためのさまざまなギアを製造しています。



ヘリノックス
<http://www.helinox.jp/>

優れた強度と柔軟性を持つ超軽量アルミニウムポールを採用した、革新的なアイテムを生み出すアウトドア・ファニチャーのブランドです。

実行委員会

NPO 法人元気王国、NPO 法人極楽鳥海人、株式会社モンベル

協力

遊佐町鳥海山観光ガイド協会、鳥海山岳会、
鳥海山グルッと一周 MTB サイクリング実行委員会、
シーカヤッククラブ 遊快倶楽部、ダイビングショップ 2nd Reef、S.M.A.R.T

環境シンポジウム **参加無料**

9月12日 **土**

場所：鳥海温泉遊楽里

16:00～16:15 飛島カヤック横断完走者へのセレモニー

16:15～16:30 開会式

16:30～17:00 基調講演「森里川海プロジェクトによる環境生命文明社会の夜明け」
中井 徳太郎（環境省大臣官房審議官）

17:00～17:10 ジオパークプレゼンテーション
岸本 誠司（鳥海山・飛島ジオパーク構想、推進協議会設立準備会。）

17:10～18:00 トークセッション「鳥海山を望み日本海から構想する新たな社会」
中井 徳太郎（環境省大臣官房審議官）

【ファシリテーター】吉澤 保幸（一般社団法人場所文化フォーラム名誉理事）

【パネリスト】中井 徳太郎（環境省大臣官房審議官）、小田島 梨絵（マウンテンバイク元オリンピック選手）



中井 徳太郎

東京大学法学部卒業。大蔵省入省後、主計局主査などを経て、富山県庁へ出向中に日本海学の確立・普及に携わる。環境政策局総務課長、2012年8月環境省大臣官房会計課長、2014年7月8日環境省大臣官房審議官（総合環境政策局担当）に就任。



吉澤 保幸

1978年東京大学法学部卒。日本銀行入行。20年の勤務を経て、2001年2月びあ（株）COO、MBA、税理士。「とかちの…」に「にっぽんの…」大店長、NPO法人ものづくり生命文明機構常任幹事、NPO法人健康医療開発機構理事、星槎大学 客員教授、立命館西園寺塾師範。一般社団法人場所文化フォーラム名誉理事



小田島（片山） 梨絵

1979年9月生まれ。岡山大学大学院自然科学研究科修了。大学在学中にマウンテンバイククロスカン트리競技を始め、2004年から2012年までプロ選手として国内外で活躍。2004年北京・2012年ロンドン五輪日本代表。2010年広州アジア大会銅メダル。2012年末に現役引退し、JOC（日本オリンピック委員会）スポーツ指導者在外研修員として2年間スイス・イタリアにてスポーツ・自転車文化にふれて暮らす。UCI（国際自転車競技連合）公認サイクリングコーチ。2015年7月末に帰国し、現在は後進の指導に当たる。

【ゲスト】辰野 勇（株式会社モンベル会長）、内田 正洋（シーカヤッカー、海洋緑化キャプテ）、八幡 暁（海洋冒険家）



辰野 勇

1947年 大阪府堺市生まれ。
1969年 アイガー北壁日本人第二登を果たす。
1975年 株式会社モンベルを設立。
2007年 代表取締役会長就任。
2011年 東日本大震災支援のため、「アウトドア義援隊」を指揮
2012年 「冒険塾」発足、塾長に就任



内田 正洋

海洋緑化協会キャプテン。海洋ジャーナリスト。これまでに8回、パリ・ダカールラリーに参戦。自動車、オートバイ関連のラリーレースに精通。その後シーカヤックと出会い海洋ジャーナリストへ。西表島から東京湾へのシーカヤック遠征「黒潮エクスペディション」など。著書に「シーカヤック教書」。



八幡 暁

2002年にオーストラリアから日本までの多島 海域を舞台に人力航海する「グレートシーマンプロジェクト」をスタート
2010年より日本の自然観を漁村の現場から学ぶ人力旅「海通路」を続け、2014年 森里川海の理念を実践する場として「じゃぶじゃぶ」を開始。

18:00～18:30 大会説明

会場案内・アクセス

◎ 大会受付、大会スタート地点

【会場】西浜海岸

◎ 開会式、環境シンポジウム、閉会式

【会場】鳥海温泉 遊楽里（鳥海文化ホール）

- ・庄内空港から国道112号線、国道7号線を秋田方面へ約35km
- ・山形自動車道・酒田みなとICから国道7号線を秋田方面へ約15km
- ・日本海東北自動車道・金浦ICから仁賀保本荘道路、国道7号線を山形方面へ約25km
- ・JR吹浦駅から約1km



【お問い合わせ】

SEA TO SUMMIT 連絡協議会 事務局（株式会社モンベル 広報部内）
TEL/06(6531)5524 FAX/06(6531)5536 〒550-0013 大阪市西区新町 2-2-2

オフィシャルウェブサイト

<http://www.seatosummit.jp>